

コースの基礎演習概要

コース 番号	4	コース名	福祉社会コース	コース定員	175名
-----------	---	------	---------	-------	------

1. キーワード

福祉社会と社会開発、社会問題と地域分析、政策提案とまちづくり、住民参加と計画

2. 基礎演習の狙い

福祉社会コースの基礎演習では、以下の3つを重視して実施します。

- ①基礎的な学びの技法を身に付ける。
- ②社会や地域にある問題を発見し、その課題を具体的に提起する。
- ③社会や地域における課題を解決する政策的、実践的な提案を行う。

3. 社会福祉基礎演習コース共通要素

福祉実践コースの基礎演習では、以下の要素を共通して取り入れて実施します。

- ①文献を収集し、読解し、レジュメを作成し、それに基づき報告する技術を身に付ける。
- ②社会や地域にある問題を発見する際に重要となる視点や調査方法を学ぶ（担当教員が得意とする方法を用いて）。
- ③社会や地域にある問題を発見し、その課題を具体的に提起する。
- ④上で挙げた課題を解決する政策的、実践的な提案を行う。
- ⑤研究した結果をレポートにまとめ提出する（後期に1回）。
- ⑥研究の成果を報告する（後期の後半に全体報告会を開催）。

4. 所属ゼミ決定方法

所属ゼミの決定方法については、コース所属決定時に、あらためて決定方法を案内します。

コースからのメッセージ

本コースの特色は、社会福祉を幅広い視点から探求することです。大学の学びで大切なことは、これまでの「知」を確認し、自分の手で新しい「知」を生み出していく力を身につけることです。

福祉社会コースの基礎演習では、まず文献や資料を収集する力、および資料を読みこなし、報告する力を育成していきます。これに加え、社会や地域に関する分析を行い、政策提案を行う力を高めていきます。

社会や地域の現状と課題を析出し、その解決の方向を具体的に示し、共に共有／検討していく力を身に付けることは、今後の福祉社会の再構築、およびみなさんの今後の人生にとって重要なことです。

福祉社会コースの基礎演習を経験することによって、みなさんが自分の手で「知」を生み出していく楽しさと意義を発見／確認していくこと、そして今後の福祉社会がより展望の開けたものになっていくことを担当教員一同、期待しています。